

報道機関各位

多文化共生講演会「災害時の外国人支援」の開催について

災害時の外国人支援について、どんなことを準備しておくべきなのか、地域に暮らす仲間と一緒に考える機会として、講演会を開催します。

日 時

令和6年1月17日（水）①午前10時00分～11時30分

②午後13時30分～15時00分

場 所 箕輪町役場 3階講堂**講 師** 土井 佳彦 氏**対象者** 町職員、外国人支援に関心のある方などどなたでも**詳 細** 別紙チラシ添付資料 有 無

総務課 総務係
(課長) 毛利 岳夫 (担当) 濱 麻利子
電 話 : 0265-79-3111 (内線) 1106
F A X : 0265-79-0230
E-mail : soumu@town.minowa.lg.jp



1/17 (水)

① 10:00～11:30

② 13:30～15:00

どちらも同じ内容です。
ご都合に合わせてご来場ください。

多文化共生講演会

災害時の外国人支援

災害時に外国人住民の場合は「5つの壁」が障害になると言われています。それは、言葉の壁、文化の壁、経験の壁、制度の壁、心の壁です。これらの壁は、日常生活の中でも立ちはだかる壁ですが、災害時にはこれらの壁がより顕著になる傾向があります。

全人口の3.3%を外国人住民が占める箕輪町。災害時の外国人支援についてどんなことを準備しておくべきなのか、地域に暮らす仲間として、この講演会をきっかけとして、一緒に考えていきましょう。1月17日は、阪神・淡路大震災が発生した日です。この日のことを思い起しながら、講演にご参加ください。

申し込みは不要

〔会場〕 箕輪町役場 3階 講堂
〔対象〕 箕輪町役場職員、
外国人支援に関心のある方など
どなたでもご参加ください。

講師紹介 | 土井 佳彦 さん

広島県広島市生まれ。2002年より大学や民間の教育機関等で日本語教育に従事。同時期に始めた地域の日本語ボランティア活動を通じて、ことばの壁を越えた相互理解の必要性を感じ始める。2008年、多文化共生分野の中間支援組織「多文化共生リソースセンター東海」の設立に参画し、翌年、NPO法人化と同時に代表理事に就任。東海地域を中心に、全国各地で自治体や国際交流協会、NPO/NGOと協働で多文化共生のまちづくりをすすめている。

東日本大震災の発生直後に設置された「東北地方太平洋沖地震多言語支援センター」ではセンター長として約2か月にわたり、各種情報の収集・提供等の陣頭指揮を執った。

主催・問い合わせ

箕輪町役場 総務課 ☎ 0265-79-3111 ✉ tabunka@town.minowa.lg.jp

この講演会は、一般財団法人自治体国際化協会・地域国際化推進アドバイザー派遣制度を利用しています。